



2021年度 行事報告

・第37回研究大会(2021年6月19日、オンライン開催)

大会テーマ:「持続可能な開発目標(SDGs)から見た流域環境保全」

基調講演:「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の実現のためのSDGsと流域環境保全

渡邊 紹裕(京都大学名誉教授、熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター
特任教授、京都大学特任教授(防災研究所))

パネルディスカッション

司会: 仲上 健一(本学会会長、立命館大学名誉教授)

パネリスト: 渡邊紹裕

原田 禎夫(大阪商業大学、NPO法人プロジェクト保津川代表理事)

高橋 卓也(滋賀県立大学)

南村 紀史(タイガー魔法瓶真空断熱ボトルブランドマネージャー)

報告記事は、[ニューズレター84号](#)に掲載しています。



・研究大会発表会(2021年8月28日、オンライン開催)

前半部テーマ:「水にかかわるフィールド・リサーチ」

座長:飯岡 宏之(SUW 研究所代表)

①「えりも岬の歴史等から見る SDGs、そして現代への応用を考える」

宮崎 絵利桂(会員)

②「シデ様雨水収集法の取水能力と水質の検討」

河野 忠(立正大学)

③「水との関わりと水関連幸福度との関係を探る

ー滋賀県野洲流域におけるアンケート調査よりー

高橋卓也(滋賀県立大学)、浅野悟史・内田由紀子(京都大学)

後半部テーマ「水にかかわる人と自然の歴史的変遷」

座長:野田 岳仁(法政大学)

④「侵略的外来水生植物に関する市民活動の変遷

ー琵琶湖のオオバナミズキンバイ問題を事例にしてー

平山 奈央子(滋賀県立大学)

⑤「淀川下流域改良工事に関する沖野とデ・レーケの功績について」

三輪 信哉(大阪学院大学)

報告記事は、[ニュースレター85号](#)に掲載しています。



・2021 年度冬季研究会(2022 年 3 月 5 日、オンライン開催)

テーマ:「水の安全保障を考える -制水権という概念をめぐって-」

総合司会:秋山 道雄(滋賀県立大学名誉教授)

開会の辞:野田 岳仁(法政大学)

報告①「制水権」をめぐって-水資源に対する軍事統制についての概念化の試み-

玉井 良尚

(立命館大学授業担当講師・岡山理科大学非常勤講師・京都先端科学大学非常勤講師)

討論者:梶原 健嗣(愛国学園大学)

報告②大エチオピア・ルネサンスダム建設に伴うナイル川国際法規律のパラダイム転換

-重大損害防止原則と衡平利用原則の相克-

鳥谷部 壤(摂南大学講師)

討論者::奥田 進一(拓殖大学)

総合討論

司会:仲上 健一(本学会会長、立命館大学名誉教授)

閉会の辞:飯岡 宏之(SUM 研究所代表)

報告記事は、[ニューズレター86号](#)に掲載しています。